

鳥栖山笠



日程 7月23日(土)~24日(日)

◆総がぶり/両日 13時30分 場所：本通筋商店街
◆祇園旗廻り/23日(土) 13時40分頃 場所：鳥栖市中央公園

日本の夏と言えば、やっぱり祭り！毎年、本通筋商店街を中心に6基の山車が練り歩き、町を熱くする「鳥栖山笠」。今年2年の中止を経て開催が決定しました。さあ、夏を感じに行こう！

90年の歴史をもつ「鳥栖山笠」

七月、子どもたちの夏休みが始まって最初の土曜、日曜日。威勢のいい「ワッショイ、ワッショイ」「エイサー」「オイサツ、オイサツ」といった掛け声とともに、山車を勢いよく揺らす締め込み姿の熱い男達の姿が鳥栖の町を活気づけます。第一回の開催から、今年で94年目を迎える「鳥栖山笠」。太平洋戦争での中断、大水害での中止などあったものの、長い歴史を越えて現在まで継承されてきました。

一昨年、昨年と二年連続で新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度は抗原検査のクリア、感染症対策、前夜祭や直会などの縮小を条件に開催が決定しました。

その発祥は諸説ありますが、昭和三年に八坂神社の「祇園祭」をなんとか賑わせる方法はないかと、博多山笠に着目し、秋葉町有志の呼びかけで地域の発展を願って興されたものがはじまり。博多

山笠を模して始められました。当初四基だった山車は、現在一番山から六番山までの六基に、子ども山もあります。

現在、参加者は地域住民を中心に、知人や友人、県外へ出た元地元住民や近隣のエリアからなどさまざま。住人が少ない町では、市内の日本語学校に通う外国人留学生を招き日本の祭りを体験してもらったり、町外の子どもクラブに声をかけたりと「鳥栖山笠」の魅力を広げ伝えていきます。地域住民が主体の町でも「普段は仕事での付き合いだが、祭りとなるとやっぱり違うコミュニケーションが生まれる」「3世代で参加していて、感慨深い」という声も。

昔は旧暦七月十三〜十五日の三日間と決められていた開催日ですが、現在は子どもが参加できるようにと夏休み最初の土日に行われています。お祓いを済ませた山車は、両日とも「八坂神社」を出発。「総がぶり」では本通筋商店街周辺を練り歩き、「祇園旗廻り」では中央公園で旗の周りを回って速

さを競います。

必見！迫力満点の山車とその技。

「がぶり」とは、山車を男たちが大きく前後に揺さぶること。何百キロとある山車。山車の上には、大人も4〜5人乗っています。その山車を勢いよく揺さぶる姿や山車を激しく激しく回転させる「差し廻し」は見る者を圧倒します。また、山車を子どもたちも綱で引っ張り、かわいい法被姿は見物客に笑顔をもたらします。山車の技が、各山によって披露され、地域住民からは「力水（ちからみず）」とよばれる応援の意味を込めた水がまかれます。

鳥栖山笠を盛り上げるその山車は「舞台」とも呼ばれ、6基の特色あるデザインはそれぞれに趣きがあり、その意味もそれぞれ。今年一番山を務める本通町の「神楽獅子」は神前で奉納する獅子舞です。本町の「飛びたつ鷲」は、子どもたちが大きく力強く飛び立つようにとの願いが込められています。中央区の「弁慶号」は開拓時代の北海道で活躍したS.L弁慶号のミニチュア。「鉄道の町・鳥栖らしい山車」と登場しました。今年では基礎から作り直し四代目が披露されます。京町は「京町恵比

寿」といって七福神の一員である福の神が祀られています。秋原町の「浮立面」は鬼を表しています。己の中にある目に見えない「鬼」と向き合い、「福」に変えて内に戻す。さらには「魔除け」として民の健康と安寧を願う意味があります。東町の山車は町の守り神になるよう願いを込められた「唐獅子」です。舞台のデザインには住民の平和や健康などさまざまな願いが込められています。

未来に継承し、より活気ある祭りに。

今までは町ごとでの団結が強かった「鳥栖山笠」ですが、ここ10年ほどで町同士の横のつながりも強くなってきました。法被などを町ごとにそろえ、開催に際し話し合いを重ね、SNSを使った広報活動なども行っています。「子どもたちがかつこい！と思える祭りに」「もっともつと盛り上げて、近隣だけじゃなく遠くからも見に来てもらえるような祭りにしたい」「祭りを継承していくために」と山興会の皆で団結し尽力しています。是非、みなさんも熱い日本の祭りを体感し、夏の始まりを楽しんでください。

※今年子ども山はありません。



三番山 中央区「弁慶号」

今年は新しくなった舞台をやっとお披露目することができます！気分十分です！



二番山 本町「飛びたつ鷲」

中止となっていた2年間を取り返す意気込みで頑張ります！



一番山 本通町「神楽獅子」

子ども、大人も一緒になって2年振りの楽しさと元気をお届けしたいです！夏をとりもどせ！！ワッショイ！



六番山 東町「唐獅子」

今年はしんがりの六番山。最後尾から鳥栖の皆さんに元氣をお届けすべく精一杯頑張ります。



五番山 秋葉町「浮立面」

コロナの終息を祈念しながら2年分の想いを込めて頑張りしたいと思います。「コロナに負けるな！WITH コロナ！」



四番山 京町「京町恵比寿」

外国人学生の方も参加予定です。皆さんと一緒に楽しんでください！



1「総がぶり」[祇園旗廻り]を終えた山車は八坂神社にもどり、山ごとに締めが行われます。2「がぶり」の様子。人を乗せた山車が前後におおきく揺さぶられる姿は迫力満点です。32022年開催に向けた山興会の話し合いの様子。各山から代表者が集まります。

